

News Release

「ザ・プレミアム・モルツ」新CM
広瀬すずさん、伊藤沙莉さん、オダギリジョーさん出演
「プレモル子ちゃん」シリーズ第5弾「プレモル子ちゃん・同級生の話」篇
11月24日(月・祝)から全国で順次オンエア開始

日本アニメーション株式会社(本社:東京都中央区、代表取締役社長:石川和子)がアニメーション制作・ライセンス展開を行う『ちびまる子ちゃん』が起用されたTV-CMとして、「プレモル子ちゃん」シリーズの第5弾「プレモル子ちゃん・同級生の話」篇(15秒・30秒)が2025年11月24日(月・祝)より全国で順次オンエアされます。「プレモル子ちゃん」シリーズは、サントリー株式会社が販売する「ザ・プレミアム・モルツ」のTV-CMです。「ちびまる子ちゃんがプレミアムな大人になったら?」というオリジナルストーリーを描いた同シリーズは、本年2月から放映をスタートし、プレミアムなまるちゃん役を広瀬すずさん、プレミアムなたまちゃん役を伊藤沙莉さん、プレミアムな花輪クン役をオダギリジョーさんが演じています。



【新CM「プレモル子ちゃん・同級生の話」篇】

新TV-CMについて

2025年の「ザ・プレミアム・モルツ」ブランドは、「人生は、ゆっくりおいしくなる。」というキーメッセージの下、国民的漫画・アニメ「ちびまる子ちゃん」の登場人物が20年後にプレミアムな大人になった世界を実写で描いたTV-CM「プレモル子ちゃん」シリーズを展開中です。

最新作の「プレモル子ちゃん・同級生の話」篇では、ニューヨークに住むプレミアムなたまちゃんの自宅を舞台に、プレミアムなまるちゃんとプレミアムな花輪クンの3人で「ザ・プレミアム・モルツ」を飲みながら忘年会を楽しむ場面が描かれます。一番の見どころは、「あの頃のみんなは元気かなあ」というプレミアムな花輪クンのつぶやきをきっかけに、3人の小学校時代が話題に上るシーンです。「ズバリ! ○○でしょう!」という口癖や「クッククック」という笑い方、当時の光景が目に浮かぶユニークなやり取りなど、プレミアムなまるちゃんたちが繰り広げる懐かしいクライスマイトたちの思い出話にご注目ください。

CMストーリー

「プレモル子ちゃん・同級生の話」篇(30秒)

年末、プレミアムなたまちゃん(伊藤さん)の自宅に招かれた、プレミアムなまるちゃん(広瀬さん)とプレミアムな花輪クン(オダギリさん)。窓の外にニューヨークの夜景が広がる部屋で忘年会をしている3人の姿に、「これは、プレミアムな大人になったまる子たちのお話」というナレーションが重なります。

「ザ・プレミアム・モルツ」片手に、プレミアムなまるちゃんとプレミアムなたまちゃんが「友だちとゆっくり飲める年末って」「幸せだねえ」と話していると、プレミアムな花輪クンが「あの頃のみんなは元気かなあ」とつぶやきます。すると、突然「ズバリ！ 丸尾くんにも会いたいでしょう！」と懐かしい同級生の口癖を真似るプレミアムなまるちゃん。すると、プレミアムなたまちゃんも「クックックッ...さくらさん、泡のおヒゲが」と口元のビールの泡を見ながら、同級生の野口さんの独特な笑い方を真似します。プレミアムなたまちゃんが「花輪クンは誰に会いたい？」と尋ねると、「ズバリ！ みぎわさんでしょう！」と割り込んでくるプレミアムなまるちゃん。プレミアムな花輪クンが思わず「かんべんしておくれよ～」と苦笑いを浮かべて、「ザ・プレミアム・モルツ」を飲みます。

「ザ・プレミアム・モルツ」をゆっくりおいしそうに飲むプレミアムなまるちゃんとプレミアムなたまちゃんの姿に、「人生は、ゆっくりおいしくなる。ザ・プレミアム・モルツ」というナレーションが重なります。「みんなどんな大人になってるんだろうねえ」というプレミアムなまるちゃんの言葉を聞いて、「電話してみるかい？」と小学校時代の連絡網を取り出すプレミアムな花輪クン。それを見て、プレミアムなたまちゃんが「連絡網まだ持ってるの！？」と驚きの声を上げます。

撮影エピソード

◇プレミアムなたまちゃん宅にトークが弾む3人

今回の舞台となったのは、ニューヨークに住むプレミアムなたまちゃんの自宅。広瀬さんと伊藤さんは、木目の壁にタータンチェックを組み合わせた温かみのある部屋を見渡して、「クリスマスツリーがかわいい」「おしゃれだよね」と楽しそうな様子でした。

◇同級生の丸尾くんの口癖「ズバリ！ ○○でしょう！」を再現

「あの頃のみんなは元気かなあ？」と同級生を懐かしむオダギリさんに、広瀬さんが「ズバリ！ 丸尾くんにも会いたいでしょう～！」と学級委員の丸尾くんの口癖を真似しながら応じるシーン。最初のテイクを撮り終えた直後、丸尾くん独特のイントネーションとわずかに違っていたため、監督から「もう少し語尾を上げて」「“ズバリ”に抑揚をつけて」と細やかな指示が入りました。それを受けた広瀬さんは、声色や抑揚の付け方を繰り返し練習。次第に調子をつかんで、伊藤さんとオダギリさんにもお墨付きをもらうと、直後の本番は監督が即座にOKを出すほどの仕上がりでした。

◇愉快なNGに大爆笑＆完璧に揃った飲みカットで一発OK

ビールの泡を口元に付けたまま丸尾くんのモノマネをする広瀬さんに、伊藤さんが同級生の野口さんの笑い方を交えて返す場面。「クックックッ...さくらさん、泡のおヒゲが」という本来のセリフを、伊藤さんが思わず「“口”的おヒゲが」と言い間違えてしまうと、広瀬さんもオダギリさんも笑い出し、現場が大爆笑に包まれました。また、広瀬さんと伊藤さんの飲みカットでは、ファーストテイクから絶妙のタイミングで「ふはーっ！！」と気持ちよさそうな飲みっぷりを披露。隣に座っていて顔が見えずとも、周囲の反応から声もアクションもピタリと揃ったことは2人とも分かっていた様子で、カットが掛かった瞬間、お互いに顔を見合わせて満面の笑みを浮かべていました。

CM概要

タイトル:「プレモル子ちゃん・同級生の話」篇(15秒・30秒)

出演:広瀬すず／伊藤沙莉／オダギリジョー

放映開始日:11月24日(月・祝)より順次

放送地域:全国

※CM映像はYouTubeサントリー公式チャンネルでもご覧いただけます。

「プレモル子ちゃん・同級生の話」篇

15秒 <https://www.youtube.com/watch?v=N5753dZVwmA>

30秒 <https://www.youtube.com/watch?v=htPTuzU3ydg>

「ザ・プレミアム・モルツ」ホームページ <http://suntory.jp/PREMIUM>

参考資料

『ちびまる子ちゃん』について

さくらももこ原作の「ちびまる子ちゃん」は、静岡県清水市(現・静岡県静岡市清水区)を舞台に、そこに暮らす一家・さくら家の次女である小学3年生のまる子(さくらももこ)と、家族や友だちとの日常を、楽しく面白く、時に切なく描いた心温まる作品です。

1986年に『りぼん』(集英社)で連載を開始し、2021年に原作35周年を迎えました。原作コミックスは全18巻が発売中。発行部数は累計3,500万部を突破(デジタル版を含む)、海外版はアジア各国、フランスでも出版されました。1990年からはテレビアニメ放送もスタートし、フジテレビ系列で毎週日曜日夕方6時より放送中。中華圏をはじめとする海外でも放送され、世界中の老若男女を魅了し、長きに亘り愛され続けています。

Webサイト: <https://www.chibimaru.tv/>

公式X(旧Twitter): @tweet_maruko

(https://x.com/tweet_maruko)

Instagram: @chibimaruko_official/

(https://www.instagram.com/chibimaruko_official/)

Facebook: <https://www.facebook.com/chibimaruko.official/>

YouTube: <https://www.youtube.com/@ChibiMarukoChannel>



©さくらプロダクション/日本アニメーション

<本件に関するお問い合わせ先>

【「ちびまる子ちゃん」に関するお問い合わせ先】

日本アニメーション株式会社 広報・宣伝担当:西方

電話:03-3545-2202 E-mail:pr-NA@nippon-animation.co.jp

画像掲載の際はコピーライトを記載いただきますようお願い申し上げます。

© さくらプロダクション/日本アニメーション